

文部科学省

# ナショナルバイオリソースプロジェクト

National BioResource Project (NBRP)

## 広報活動

2013年度 開催報告書

リソース代表機関

動物

- カタコレイボヤ
- ニホリウス
- ソリムシ
- ネタイツメガエル
- カイク
- ショウジョウバエ
- 線虫
- シロイヌナズナ
- 広義キク属
- アサガオ
- トマト
- ミヤコグサ
- ダイズ
- イネ
- コムギ
- オオムギ

植物

- ゾウリムシ
- 線虫
- シロイヌナズナ
- 広義キク属
- アサガオ
- トマト
- ミヤコグサ
- ダイズ
- イネ
- コムギ
- オオムギ

微生物・細胞

- 酵母
- 細菌
- 植物性粘菌
- 動物性粘菌
- 病原微生物
- ヒト-植物細胞 DNA
- 一般微生物
- 研究用ヒト胎盤血幹細胞

研究者  
コミュニティ

リソース情報  
ゲノム情報  
付随情報

研究成果の  
フィードバック

Resource Research Circulation

NBRP広報企画ワーキンググループ

# I N D E X

ご挨拶（NBRP広報企画ワーキンググループ主査） .....	1
1. 第60回日本実験動物学会総会 NBRP展示コーナー .....	2
2. 第12回国際コムギ遺伝学シンポジウム （The 12th International Wheat Genetics Symposium, 12th IWGS） NBRP展示コーナー .....	8
3. 第18回国際窒素固定会議 （The 18th International Congress on Nitrogen Fixation, 18th ICNF） NBRP展示コーナー .....	13
4. 日本遺伝学会第85回大会 NBRP展示コーナー .....	17
5. The 5th Asian Network of Research Resource Centers (ANRRC) International Meeting 会議報告 .....	19
6. 第36回日本分子生物学会年会 特別企画NBRP実物つきパネル展示 「バイオリソース勢ぞろい」 .....	22
• 展示プログラム .....	25
• 来場者アンケート集計結果 .....	34
2013年度NBRP広報活動について（NBRP事務局） .....	39
広報企画ワーキンググループ委員名簿 .....	40

## ご 挨拶

文部科学省では、2002年度から国が戦略的に整備することが重要なバイオリソースについて、体系的に収集、保存、提供等を行うことを目的として「ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）」をスタートさせました。生命科学のさらなる発展のためには、バイオリソース事業の活動内容について研究コミュニティを構成するバイオリソースのユーザーに良く知ってもらい、バイオリソースを活用してもらった上で事業改善につながる要望等を事業実施者へフィードバックする必要があります。このようなバイオリソース事業に関する情報循環を促進することを目的として、NBRP推進委員会では広報企画ワーキンググループを設置し、学会や研究集会においてNBRP活動の紹介と事業への要望の収集に努力して参りました。

2013年度は、第3期NBRPの2年目にあたりますが、例年どおり関連研究集会の開催やバイオリソースの展示を実施し、多くの参加者にバイオリソースの実態に触れていただき、忌憚のないご意見やコメントを寄せて頂くことができました。さらに多くの方にNBRPを周知させて頂き、引き続き第3期の事業活動が我が国の生命科学研究の発展の礎となることを切望して、ここに2013年度のNBRP広報活動実施報告書をお送りいたします。

2014年3月

NBRP広報企画ワーキンググループ

主査 城石 俊彦

(情報・システム研究機構国立遺伝学研究所教授)

# 1 第60回日本実験動物学会総会 NBRP展示コーナー

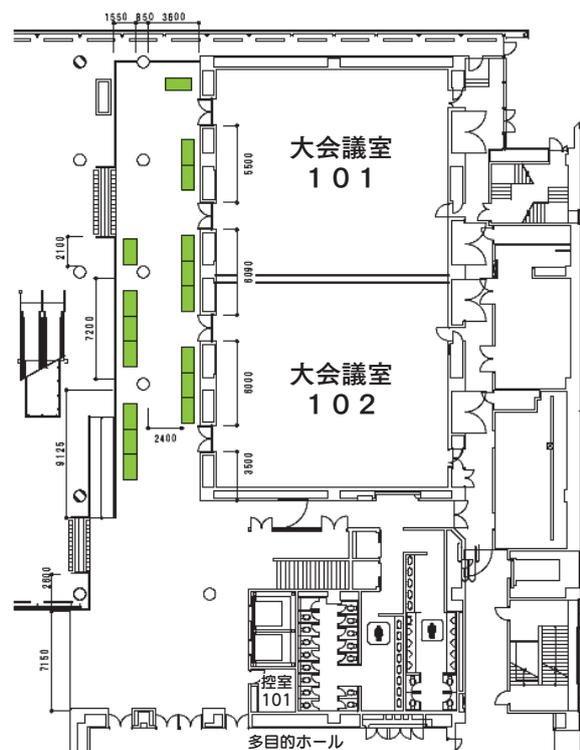
【開催記録】 日時：2013年5月15日(水) 9:30~17:00、  
 16日(木) 9:00~17:00、17日(金) 9:00~13:00  
 会場：つくば国際会議場 1階 大会議室 (101+102) 前ホール  
 主催：第60回日本実験動物学会総会  
 (大会長 小幡 裕一 (理化学研究所バイオリソースセンター長))

第60回日本実験動物学会が2013年5月15日(水)~17日(金)の日程でつくば国際会議場で開催された。大会側発表によると、大会期間中の参加者数は約1,080名で盛会のうちに終了した。

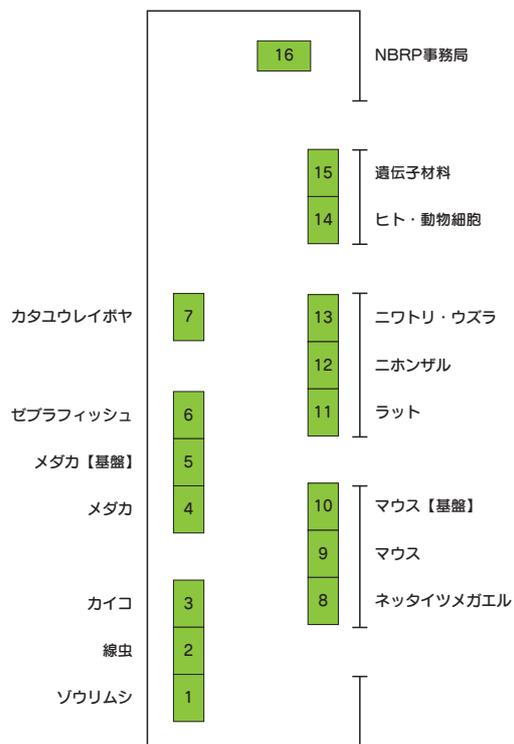
実験動物ならびに動物実験は、基礎から応用に至る学術研究、創薬等のイノベーションの推進に必要不可欠であることから、本大会のテーマは、「実験動物・動物実験：学術研究、イノベーションの礎」であった。大会長の小幡裕一先生 (理研バイオリソースセンター長) 及び吉木淳先生 (実験動物マウス代表機関) の呼びかけに応え、動物、細胞、遺伝子材料のリソースを中心にNBRP事業の広報活動として展示会を開催することになった。

参加したリソースは、ゾウリムシ (山口大)、線虫 (東京女子医大)、カイコ (九州大)、メダカ (基生研)、ゼブラフィッシュ (理研脳科学総合研究センター)、カタユウレイボヤ (筑波大)、ネッタイツメガエル (広島大)、実験動物マウス (理研バイオリソースセンター)、ラット (京都大)、ニホンザル (生理研)、ニワトリ・ウズラ (名古屋大)、ヒト・動物細胞 (理研バイオリソースセンター)、遺伝子材料 (理研バイオリソースセンター)、さらに基盤技術整備プログラムからメダカ (東京海洋大) とマウス (熊本大) のほか、事務局 (遺伝研) で計16ブースの出展になった。各ブースにおいて、ポスター、パンフレット、モニター画面、標本や模型等にてNBRP事業の紹介を行った。NBRPリソースの有効的、積極的利用をアピールすることができ、大変有意義であった。

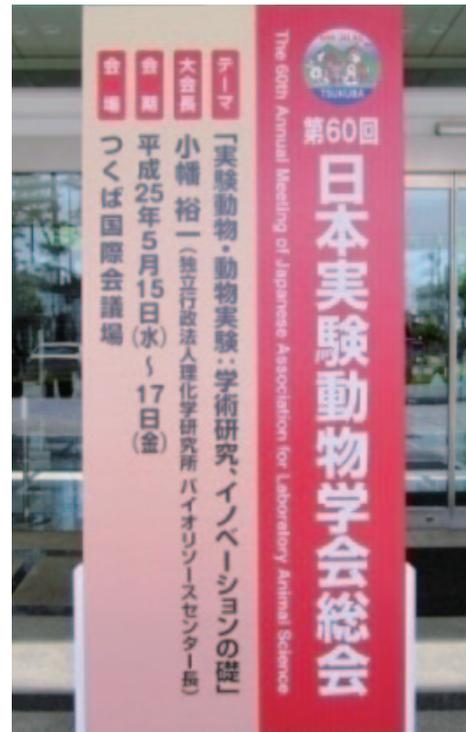
【会場図】



【展示会場・NBRP展示コーナー】



【会場風景】



**第60回 日本実験動物学会総会**

**文部科学省  
ナショナルバイオリソースプロジェクト  
NBRP展示コーナー**

**展示ブース**

1. ソウリムシ (山口大学)	9. 実験動物マウス (理研BRC)
2. 線虫 (東京女子医科大学)	10. 実験動物マウス (熊本大学)
3. カイコ (九州大学)	11. ラット (京都大学)
4. メダカ (基礎生物学研究所)	12. ニホンザル (生理学研究所)
5. メダカ (東京海洋大学)	13. ニワトリ・ウズラ (名古屋大学)
6. ゼブラフィッシュ (理研BSI)	14. ヒト・動物細胞 (理研BRC)
7. カタクウレイボヤ (筑波大学)	15. 遺伝子材料 (理研BRC)
8. ネットイツメガエル (広島大学)	16. NBRP事務局 (国立遺伝学研究所)

**会場：つくば国際会議場 1F 大会議室前ホール**  
**会期：2013年5月15日(水)~17日(金)**  
 主催 NBRP広報企画ワーキンググループ

## NBRP 展示プログラム

1

**NBRP 「ゾウリムシ」:**  
NBRP ゾウリムシ

藤島 政博<sup>1</sup>, 田中 健也<sup>1</sup>, 児玉 有紀<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>山口大学, <sup>2</sup>島根大学)



2

**NBRP 「線虫」:**  
遺伝子機能解析用ツールとしての線虫欠失変異体リソース

本橋 智子, 中台 枝里子, 吉名 佐和子, 堀 沙耶香,  
今江 理恵子, 末廣 勇司, 三谷 昌平  
(東京女子医科大学医学部第二生理学教室)



3

**NBRP 「カイコ」:**  
アジア発信のカイコリソースの魅力

藤井 告<sup>1</sup>, 伴野 豊<sup>1</sup>, 嶋田 透<sup>2</sup>, 梶浦 善太<sup>3</sup>, 瀬筒 秀樹<sup>4</sup>  
(<sup>1</sup>九州大学, <sup>2</sup>東京大学, <sup>3</sup>信州大学, <sup>4</sup>農業生物資源研究所)



4

**NBRP 「メダカ」:**  
メダカ先導的バイオリソースの拠点形成

成瀬 清<sup>1</sup>, 笹土 隆雄<sup>1</sup>, 原 郁代<sup>1</sup>, 竹花 佑介<sup>1</sup>, 酒泉 満<sup>2</sup>, 佐藤 忠<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>基礎生物学研究所バイオリソース研究室, <sup>2</sup>新潟大学理学部)



5

**NBRP 「メダカ 【基盤】」:**  
生殖細胞の凍結保存と借り腹生産による系統の回復に関する技術開発

吉崎 悟朗<sup>1</sup>, 関 信輔<sup>1</sup>, 成瀬 清<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>東京海洋大学海洋科学技術研究科, <sup>2</sup>基礎生物学研究所バイオリソース研究室)



## NBRP 展示プログラム

6

### NBRP「ゼブラフィッシュ」:

ナショナルバイオリソースプロジェクト・ゼブラフィッシュ

岡本 仁<sup>1</sup>, 川上 浩一<sup>2</sup>, 東島 眞一<sup>3</sup>

(<sup>1</sup>理化学研究所, <sup>2</sup>情報・システム研究機構, <sup>3</sup>自然科学研究機構)



7

### NBRP「カタユウレイボヤ」:

「カタユウレイボヤ」海産動物の代表リソース

稲葉 一男<sup>1</sup>, 笹倉 靖徳<sup>1</sup>, 三田 薫<sup>1</sup>, 吉田 慶太<sup>1</sup>,

佐藤 ゆたか<sup>2</sup>, 赤坂 甲治<sup>3</sup>, 吉田 学<sup>3</sup>

(<sup>1</sup>筑波大学・下田臨海実験センター, <sup>2</sup>京都大学・大学院理学研究科, <sup>3</sup>東京大学・三崎臨海実験所)



8

### NBRP「ネッタイツメガエル」:

新しい実験動物としてのネッタイツメガエル

柏木昭彦, 鈴木 厚, 古野 伸明, 柏木 啓子, 花田 秀樹, 田澤 一郎,

倉林 敦, 中島 圭介, 竹林 公子, 小林 里美, 竹中 純子, 住田 正幸

(広島大学大学院理学研究科附属両生類研究施設)



9

### NBRP「マウス」:

次世代マウスリソースの拡充

吉木 淳, 綾部 信哉, 目加田 和之, 中田 初美, 平岩 典子,

池 郁生, 持田 慶司, 小倉 淳郎, 森脇 和郎, 小幡 裕一

(理研バイオリソースセンター・実験動物開発室・遺伝工学基盤技術室)



10

### NBRP「マウス【基盤】」:

マウス体外受精に関する基盤整備技術の開発

中瀬 直己, 竹尾 透, 土山 修治, 古波蔵 恵里, 福本 紀代子, 近藤 朋子,

竹下 由美, 中牟田 裕子, 松永 寛子, 梅野 智子, 西野 愛美

(熊本大学 生命資源研究・支援センター CARD 資源開発分野)



## NBRP 展示プログラム

11

### NBRP「ラット」:

第3期ナショナルバイオリソースプロジェクト「ラット」の魅力

真下 知士, 金子 武人, 竹鶴 裕亮, Voigt Birger, 吉見 一人,  
根小田 祐基, 崔 宗虎, 国広 弥生, 古迫 久実, 滝原 裕喜,  
林 真智子, 中西 聡, 山崎 賢一, 庫本 高志  
(京都大学医学研究科附属動物実験施設)



12

### NBRP「ニホンザル」:

ニホンザルバイオリソースの現状と展望

伊佐 正<sup>1</sup>, 山根 到<sup>1</sup>, 中村 克樹<sup>2</sup>, 山中 淳史<sup>2</sup>, 浜井 美弥<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>生理学研究所, <sup>2</sup>京都大学霊長類研究所)



13

### NBRP「ニワトリ・ウズラ」:

鳥類を代表するバイオリソース

松田 洋一<sup>1</sup>, 吉村 崇<sup>1</sup>, 村井 篤嗣<sup>1</sup>, 大森 保成<sup>1</sup>,  
山縣 高宏<sup>1</sup>, 鈴木 孝幸<sup>2</sup>, 飯島 信司<sup>3</sup>, 齋藤 昇<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>名古屋大・院生命農学・鳥類バイオサイエンス研究センター,  
<sup>2</sup>名古屋大・院理, <sup>3</sup>名古屋大・院工)



14

### NBRP「ヒト・動物細胞」

中村 幸夫, 他 理研細胞バンク一同  
(理化学研究所バイオリソースセンター細胞材料開発室)



15

### NBRP「遺伝子材料」:

信頼できるDNAリソースでよい研究結果を!

村田 武英, 岸川 昭太郎, 中出 浩司, 小幡 裕一  
(理化学研究所バイオリソースセンター遺伝子材料開発室)



## NBRP展示プログラム

16

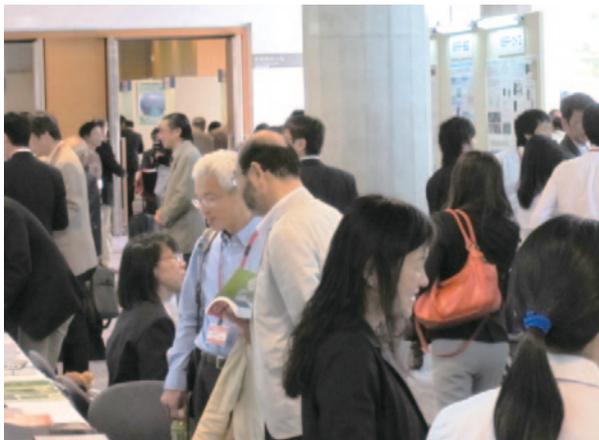
**NBRP事務局：**

第3期ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）事業の紹介

佐藤 清，高野 道子，小島 美智代，平田 裕美  
（国立遺伝学研究所 NBRP事務局）



### 【会場風景】



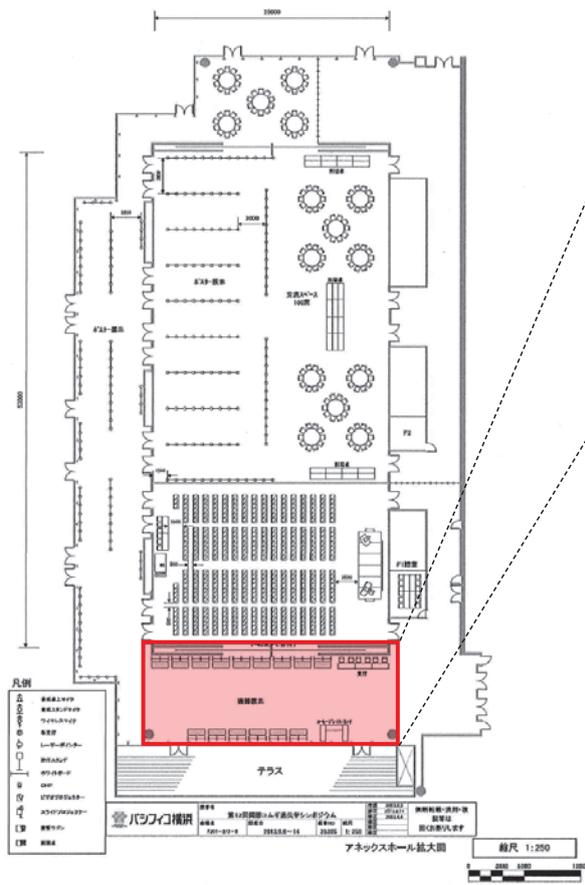
# 2 第12回国際コムギ遺伝学シンポジウム (The 12th International Wheat Genetics Symposium, 12th IWGS) NBRP展示コーナー

**【開催記録】** 日時：2013年9月9日(月)～13日(金)  
 会場：第12回国際コムギ遺伝学シンポジウム展示会 NBRP展示コーナー  
 (パシフィコ横浜アネックスホール、横浜市)  
 主催：NBRP広報企画ワーキンググループ  
 共催：第12回国際コムギ遺伝学シンポジウム (IWGS)  
 (国内組織運営委員会 委員長 荻原 保成 (横浜市立大学木原生物研究所))

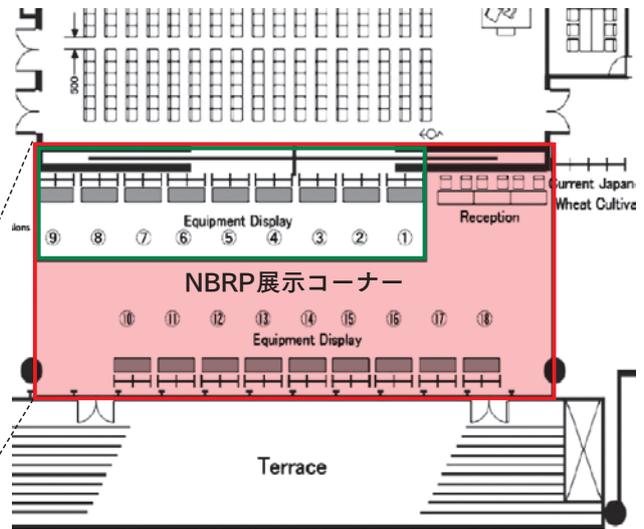
第12回国際コムギ遺伝学シンポジウム (12<sup>th</sup> IWGS) は、「ゲノム分析からゲノミクスへ—コムギゲノム解析の育種への展開—」をテーマに、2013年9月9日(月)～13日(金)までパシフィコ横浜を会場として開催された。最新のゲノム科学から遺伝子機能解析、さらには系統進化から育種にいたるまで、コムギを材料として幅広い遺伝学に関する最新の学術研究の進捗が発表され、国際的な研究者間で活発な情報交換が行われた。また、ゲノムシーケンス情報を利用した新しい育種技術を世界の農業現場へ実際に展開していく事業に関しても、重要な議論の場となった。

出展したリソースは、シロイヌナズナ (理研バイオリソースセンター)、イネ (遺伝研)、コムギ (京都大)、オオムギ (岡山大)、アサガオ (九州大)、ミヤコグサ・ダイズ (宮崎大)、トマト (筑波大)、情報 (遺伝研) の8リソースと事務局 (遺伝研) で計9ブースとなり、各ブースにおいてポスター発表やモニターによる研究紹介や事業説明を行った。大会側発表によると参加者は36か国から411名 (国外よりの参加者296名) であった。

**【会場図】**



**【展示会場・NBRP展示コーナー】**



- ①NBRP-Arabidopsis/Cultured plant cells, genes
- ②NBRP-Rice
- ③NBRP-Wheat
- ④NBRP-Barley
- ⑤NBRP-Morning glory
- ⑥NBRP-Lotus/Glycine
- ⑦NBRP-Tomato
- ⑧NBRP-Information Center
- ⑨NBRP-Secretariat

【会場風景】



**The 12th International Wheat Genetics Symposium**

**MEXT National BioResource Project**

**NBRP Exhibition**

**Booth (Plants)**

<b>Arabidopsis</b> (RIKEN BioResource Center)	<b>Barley</b> (Okayama University)	<b>Tomato</b> (University of Tsukuba) (Osaka Prefecture University)
<b>Rice</b> (National Institute of Genetics) (Kyoto University) (Nagoya University)	<b>Morning glory</b> (Kyushu University) (National Institute for Basic Biology)	<b>Information center</b> (National Institute of Genetics)
<b>Wheat</b> (Kyoto University) (Yokohama City University)	<b>Lotus/Glycine</b> (University of Miyazaki) (Hokkaido University) (Nihon University) (Saga University)	<b>Secretariat</b> (National Institute of Genetics)

**NBRP**

**Venue** : Pacifico Yokohama, JAPAN  
**Date** : September 9-13, 2013  
**Sponsor** : National BioResource Project (NBRP)

## NBRP 展示プログラム

1

**NBRP Arabidopsis/Cultured plant cells, genes:**  
Experimental plants that promote breeding science

Yasuyo Himuro, Satoshi Iuchi, Hiroshi Abe, Toshihiro Kobayashi,  
and Masatomo Kobayashi  
(RIKEN BioResource Center)



2

**NBRP Rice:**  
Genetic resources of genus *Oryza*-Collection and characterization of wild accessions and developed experimental lines.

Nori Kurata<sup>1</sup>, Ken-ichi Nonomura<sup>1</sup>, Takahiko Kubo<sup>1</sup>, Kazuyuki Doi<sup>2</sup>,  
Hideshi Yasui<sup>3</sup>, Atsushi Yoshimura<sup>3</sup>, and Toshihiro Kumamaru<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>National Institute of Genetics,  
<sup>2</sup>Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University,  
<sup>3</sup>Faculty of Agriculture, Graduate School, Kyushu University)



3

**NBRP Wheat:**  
What can you find in NBRP-Wheat?  
The Japanese Stock Center for Wheat Genetic Resources

Shuhei Nasuda<sup>1</sup>, Miyuki Nitta<sup>1</sup>, Shotaro Takenaka<sup>1</sup>, Taihachi Kawahara<sup>1</sup>,  
Takashi R. Endo<sup>1</sup>, Kanako Kawaura<sup>2</sup>, Masayuki Isshiki<sup>2</sup>, Tomohiro Ban<sup>2</sup>,  
and Yasunari Ogihara<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>Graduate School of Agriculture, Kyoto University,  
<sup>2</sup>Kihara Institute for Biological Research, Yokohama City University)



4

**NBRP Barley:**  
Barley resources to access genome diversity in Triticeae species

Hiroshi Hisano, Kazuhiro Sato  
(Institute of Plant Science and Resources Okayama University)



5

**NBRP Morning glory:**  
Genetic resources of *Ipomoea nil* and related species: wide variety of mutants induced by transposable elements

Eiji Nitasaka<sup>1</sup>, Atsushi Hoshino<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>Kyushu University, <sup>2</sup>National Institute for Basic Biology)



## NBRP 展示プログラム

6

### NBRP Lotus/Glycine:

The National BioResource Project for *Lotus japonicus* and *Glycine max* / *soja* in Japan

Masatsugu Hashiguchi<sup>1</sup>, Genki Ishigaki<sup>1</sup>, Jun Abe<sup>2</sup>, Toshio Aoki<sup>3</sup>,  
Toyoaki Anai<sup>4</sup>, Akihiro Suzuki<sup>4</sup>, and Ryo Akashi<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>Faculty of Agriculture, University of Miyazaki,

<sup>2</sup>Graduate School of Agriculture, Hokkaido University,

<sup>3</sup>College of Bioresource Sciences, Nihon University, <sup>4</sup>Faculty of Agriculture, Saga University)



7

### NBRP Tomato:

Achievement and Future Vision of National BioResource Project-Tomato

Ken Hoshikawa<sup>1</sup>, Tohru Ariizumi<sup>1</sup>, Masahito Shikata<sup>1</sup>, Yukiko Yamazaki<sup>2</sup>,  
Naoya Fukuda<sup>1</sup>, Yoshinori Kanayama<sup>3</sup>, Yasutaka Kubo<sup>4</sup>, Koh Aoki<sup>5</sup>, and  
Hiroshi Ezura<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>University of Tsukuba, <sup>2</sup>National Institute of Genetics, <sup>3</sup>Tohoku University,

<sup>4</sup>Okayama University, <sup>5</sup>Osaka Prefecture University)



8

### NBRP Information Center:

BioResource World -NBRP database retrieval system

Yukiko Yamazaki, Rie Tsuchiya, Mutsumi Matsuda, Toru Watanabe,  
Manabu Hattori, Masakazu Saga, Atsuki Aiba, Hiroki Watanabe,  
Kyohei Matsuno, and Gaku Kimura  
(National Institute of Genetics)



9

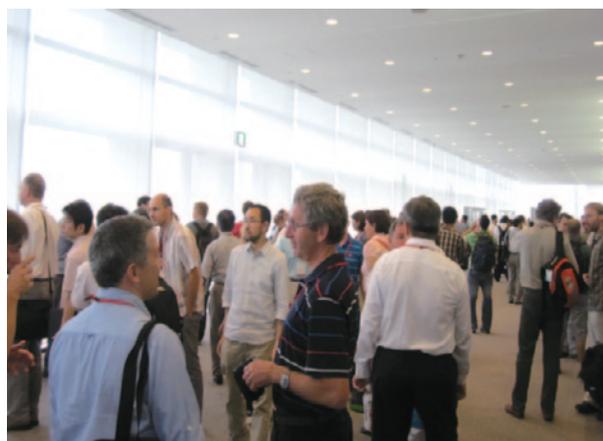
### NBRP Secretariat:

Introduction of National Bioresource Project (NBRP) in Japan

Kiyoshi Sato, Hiromi Hirata, Michiyo Kojima, and Tomoe Takatsu  
(Secretariat of National Bioresource Project, National Institute of Genetics)



【会場風景】



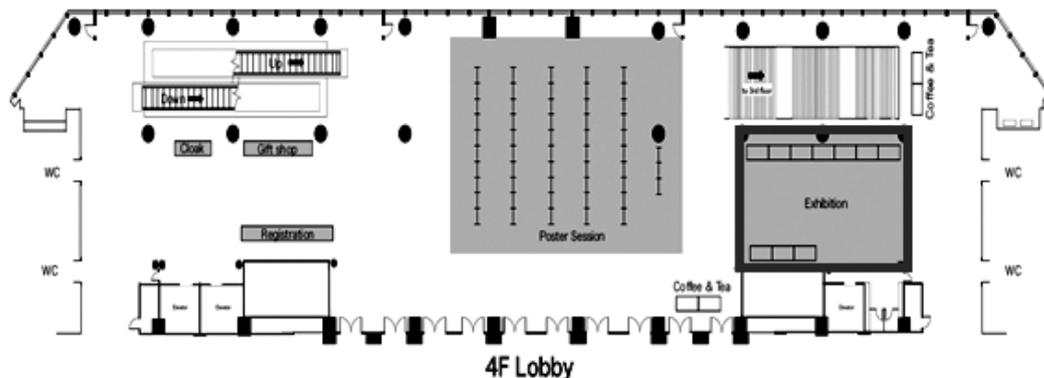
# 3 第18回国際窒素固定会議 (The 18th International Congress on Nitrogen Fixation, 18th ICNF) NBRP展示コーナー

**【開催記録】** 日時：2013年10月15日(火)～17日(木)  
9：00～18：00（最終日12：00）  
会場：第18回国際窒素固定会議展示会 NBRP展示コーナー  
(フェニックス・シーガイア・リゾートワールドコンベンションセンター、宮崎市)  
主催：NBRP広報企画ワーキンググループ  
共催：第18回国際窒素固定会議 (ICNF)  
(国内組織運営委員会 委員長 南澤 究 (東北大学大学院生命科学研究科 教授))

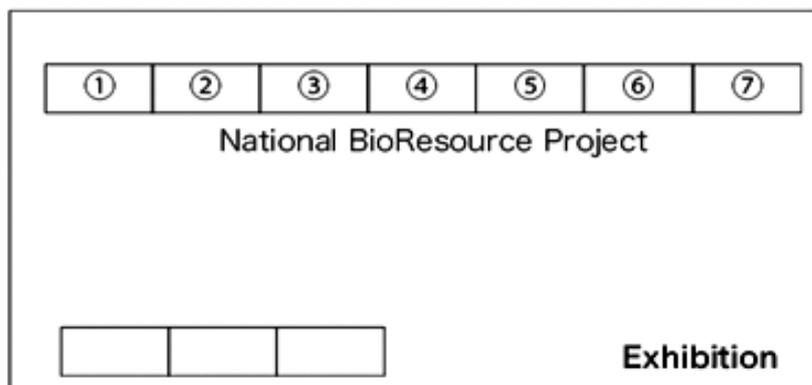
第18回国際窒素固定会議が2013年10月15日(火)～17日(木)に宮崎市シーガイアコンベンションセンターで開催された。植物における窒素固定に限らず植物と微生物との共生科学、バイオリソースのゲノム解析、生物界の窒素循環などの幅広い分野について、発表と討論が行われた。

NBRP展示では、シロイヌナズナ (理研バイオリソースセンター)、コムギ (京都大)、藻類 (環境研)、広義キク属 (広島大)、アサガオ (九州大)、ミヤコグサ・ダイズ (宮崎大)、NBRP事務局の計7ブースが出展し、多くの参加者がNBRPブースに興味を持ち、足を運んでいただいた。大会側発表によると、32ヶ国より268名の参加者で、口頭121題、ポスター104題の発表が行われた。なお、本国際会議は、日本では初めての開催となった。

## 【会場図】



## 【展示会場・NBRP展示コーナー】



- ①NBRP Arabidopsis /  
Cultured plant cells, genes
- ②NBRP Wheat
- ③NBRP Algae
- ④NBRP Chrysanthemum
- ⑤NBRP Morning glory
- ⑥NBRP Lotus/Glycine
- ⑦NBRP Secretariat

## NBRP 展示プログラム

1

**NBRP Arabidopsis/Cultured plant cells, genes:**  
Unique and valuable resources that help plant sciences

Yasuyo Himuro, Toshihiro Kobayashi, Satoshi Iuchi, Hiroshi Abe, and  
Masatomo Kobayashi  
(RIKEN BioResource Center)



2

**NBRP Wheat:**  
What can you find in NBRP-Wheat?  
The Japanese Stock Center for Wheat Genetic Resources

Shuhei Nasuda<sup>1</sup>, Miyuki Nitta<sup>1</sup>, Shotaro Takenaka<sup>1</sup>, Taihachi Kawahara<sup>1</sup>,  
Takashi R. Endo<sup>1</sup>, Kanako Kawaura<sup>2</sup>, Isshiki Masayuki<sup>2</sup>, Tomohiro Ban<sup>2</sup>,  
and Yasunari Ogihara<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>Graduate School of Agriculture, Kyoto University,  
<sup>2</sup>Kihara Institute for Biological Research, Yokohama City University)



3

**NBRP Algae:**  
Various algal resources in NBRP Algae

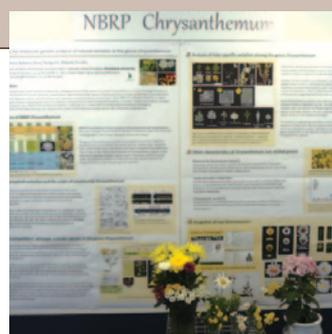
Masanobu Kawachi<sup>1</sup>, Yohei Shimura<sup>1</sup>, Hiroshi Kawai<sup>2</sup>, Isao Inouye<sup>3</sup>,  
Takeshi Nakayama<sup>3</sup>, and Kazuhiro Kogame<sup>4</sup>  
(<sup>1</sup>National Institute for Environmental Studies, <sup>2</sup>Kobe University, <sup>3</sup>University of Tsukuba,  
<sup>4</sup>Hokkaido University)



4

**NBRP Chrysanthemum:**  
Bioresources for molecular genetic analysis of natural variation  
in the genus Chrysanthemum

Michiharu Nakano, Kenji Taniguchi, and Makoto Kusaba  
(Hiroshima University)



5

**NBRP Morning glory:**  
Introduction of Ipomoea genetic resources: wide variety of mutants induced by  
transposable elements

Eiji Nitasaka<sup>1</sup>, Atsushi Hoshino<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>Kyushu University, <sup>2</sup>National Institute for Basic Biology)



## NBRP 展示プログラム

6

**NBRP Lotus/Glycine:**

The National Bioresource Project *Lotus japonicus* and *Glycine max / soja*  
in Japan - Preparation of International Center for *Lotus* and *Glycine* Resource -

Masatsugu Hashiguchi<sup>1</sup>, Genki Ishigaki<sup>1</sup>, Jun Abe<sup>2</sup>, Toshio Aoki<sup>3</sup>,  
Toyoaki Anai<sup>4</sup>, Akihiro Suzuki<sup>4</sup>, and Ryo Akashi<sup>1</sup>

<sup>1</sup>Faculty of Agriculture, University of Miyazaki,

<sup>2</sup>Graduate School of Agriculture, Hokkaido University,

<sup>3</sup>College of Bioresource Sciences, Nihon University, <sup>4</sup>Faculty of Agriculture, Saga University)



7

**NBRP Secretariat:**

Introduction of National Bioresource Project (NBRP) in Japan

Kiyoshi Sato, Hiromi Hirata, Michiyo Kojima, and Tomoe Takatsu  
(Secretariat of National Bioresource Project, National Institute of Genetics)



The 18th International Congress on Nitrogen Fixation

**MEXT National BioResource Project  
NBRP Exhibition**

**Booth (Plants)**

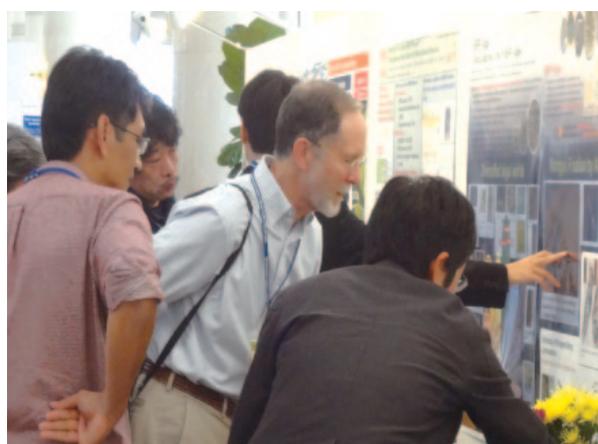
<b>Arabidopsis</b> (RIKEN BioResource Center)	<b>Morning glory</b> (Kyushu University) (National Institute for Basic Biology)
<b>Wheat</b> (Kyoto University) (Yokohama City University)	<b>Lotus/Glycine</b> (University of Miyazaki) (Hokkaido University) (Nihon University) (Saga University)
<b>Algae</b> (National Institute for Environmental Studies) (Kobe University) (University of Tsukuba) (Hokkaido University)	<b>Secretariat</b> (National Institute of Genetics)
<b>Chrysanthemum</b> (Hiroshima University)	

**NBRP**

**Venue** : Phoenix seagaia resort in Miyazaki, JAPAN  
**Date** : October 15-17, 2013  
**Sponsor** : National BioResource Project (NBRP)



【会場風景】



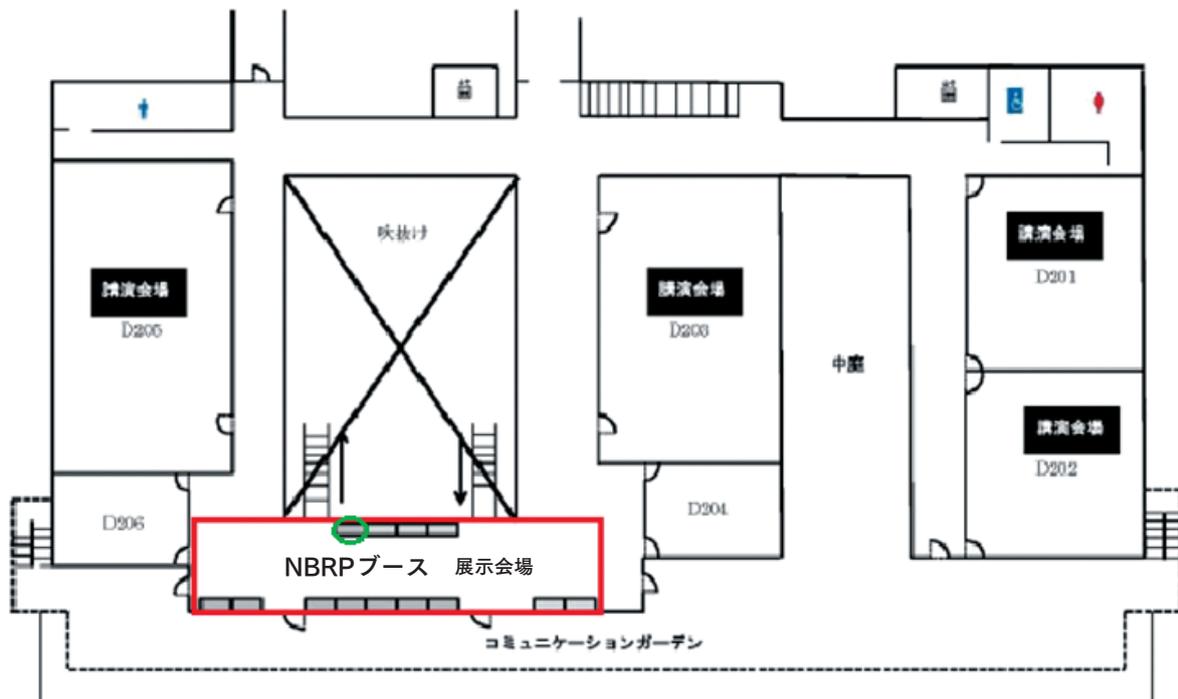
# 4 日本遺伝学会第85回大会 NBRP展示コーナー

**【開催記録】** 日時：2013年9月19日(木)～21日(土) 9：00～17：00（最終日15：30）  
 会場：日本遺伝学会第85回大会 附設展示会 NBRP展示コーナー  
 （慶應義塾大学 日吉キャンパス 第4校舎 独立館、横浜市）  
 主催：NBRP広報企画ワーキンググループ  
 共催：日本遺伝学会第85回大会  
 （大会委員長 岡田 典弘（東京工業大学大学院理工学研究科））

日本遺伝学会第85回大会が2013年9月19日(木)～21日(土)、慶應義塾大学日吉キャンパス第4校舎独立館で開催された。日本遺伝学会は長い歴史と伝統をもち、これまで分子レベルから個体・集団のレベルまで幅広い専門分野において、日本の優れた研究の発展に貢献している。本大会では多様な分野の研究者達が、最先端の研究報告を行った。NBRPに参画している各課題管理者の先生方による口頭発表も行われ、活発な討論がなされた。

NBRP事務局ブースにおいてはポスター発表やモニターによる研究紹介や事業説明を行った。大会側発表によると参加者は429名であり、研究者と一般参加者との間で交流の場となった。

## 【展示会場・NBRP展示コーナー】



【会場風景】

The 85<sup>th</sup> Annual Meeting of The Genetics Society of Japan  
**日本遺伝学会 第85回大会**

◎会期.....2013年9月19日(木)~21日(土)  
◎会場.....慶應義塾大学日吉キャンパス(第4校舎独立館)  
◎大会委員長.....岡田 典弘 (東京工業大学 名誉教授)

◎詳細は...<http://gsj3.jp/taikai/85taikai/>

◎ 講演発表期間：6月3日(月)~7月3日(水)  
大会ホームページよりお申し込みください。  
※1 講演のお申し込みは原則として会費の方のみです。  
※2 学生の方は参加費無料となります。  
※3 学生会員の方を対象に旅費補助も行います。  
詳細は大会ホームページをご覧ください。

◎ 事前参加登録期間：6月3日(月)~8月6日(水)

特別講演：9月19日(木) 午後  
榎井 正利 博士 (マサチューセッツ工科大学 名誉教授) (4時30分~6時30分)

一般講演：9月19日(木)~9月21日(土)  
総会、定款講演、懇親会：9月20日(金) 午後、夕方  
シンポジウム：9月19日(木)、9月21日(土) 午後

◎ 公開シンポジウム  
ミクロ進化とマクロ進化のギャップをどう埋めるのか  
田中 孝子(東工大)、宮野 真(理研)、岡田 典弘(東工大)

◎ 公開特別シンポジウム  
アジアの遺伝学の最新動向—  
Advances of Genomics and Molecular Genetics in Asia  
Takashi Gojobori (理研), Hiroaki Kasaiaki (Keio Univ.),  
Toshinori Fritschel (Kazuo Univ.)

◎ 学生会員公開特別シンポジウム  
How can comparative information be used to solve alcohol issues?  
Diana Bucala (M.研) / Yasuhisa Yamada (M.研)

ワークショップ：9月19日(木)~9月21日(土) 午後

**公開市民講座**

講演者と演題  
① 榎井 正利(東京大学名誉教授) 題名  
「パーソナルゲノム解析が医療を変革させる」  
② 五藤 隆彦(理研) 題名  
「ゲノム科学が解き明かす癌の起源と進化」  
③ 岡田 典弘(東京工業大学 名誉教授)  
「ゲノム科学の未来が人類生活に与えること」

●入場無料、申込不要です。会場まで直接お越し下さい。  
●共催：慶應義塾大学自然科学教育センター  
●NBRPはPRAIS-APRS 登録 2365002の施設番号があります。  
The certificate was issued by JPRS/NBRP/IBS Unit Number 2365002

主催：日本遺伝学会 連絡先：日本遺伝学会第85回大会事務局  
E-Mail: [iden85@seedanum.jp](mailto:iden85@seedanum.jp) 共催：慶應義塾大学理工学部

**同時開催**  
**日本遺伝学会公開市民講座**  
ゲノム研究が切り拓く新しい地平線

**日本遺伝学会第85回大会**  
大会委員長 岡田典弘(東京工業大学名誉教授)

会場 慶應義塾大学日吉キャンパス第4校舎独立館  
会期 平成25年9月19日(木)~21日(土)

会場 慶應義塾大学日吉キャンパス第4校舎独立館1F (D101)  
会期 平成25年9月21日(土) 午後5時30分  
入場無料

↑

NBRP事務局

文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト

会場 慶應義塾大学日吉キャンパス第4校舎独立館

会期 平成25年9月19日(木)~21日(土)

入場無料

# 5 The 5th Asian Network of Research Resource Centers (ANRRC) International Meeting 会議報告

**【開催記録】** 開催日：2013年10月30日(水)～11月1日(金)  
開催地：湘南国際村センター（葉山）  
主催：RIKEN BioResource Center, Japan

第5回 Asian Network of Research Resource Centers (ANRRC) の国際会議が、理化学研究所バイオリソースセンター主催の下、2013年10月30日から11月1日まで葉山湘南国際村センターにて開催された。本国際会議は、バイオリソースの整備に携わるアジア諸国の研究者の交流の場として5年前に発足したものである。

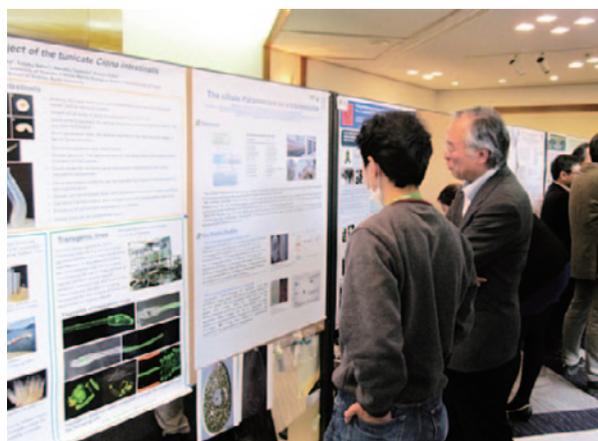
今回は、ANRRCの会長である理化学研究所バイオリソースセンターの小幡センター長が開催会長を務められ日本に招致したものである。日本での開催は、2010年（理化学研究所）以来3年ぶり2回目となる。

今回の5th ANRRC会議には、16ヶ国128名（日本、韓国約50名、中国、タイ約6～7名、その他の国1～2名）の関係者が出席した。本会議では、Plenary Lectures 4報、Report from Each Institute 7報、Oral Sessions 50報（Biodiversity, Biobanking, Plant, Data Management, Microbe, Animal, Algae）およびPosters 49報の発表が行われた。NBRP関係者からは、日本におけるバイオリソース整備の概況、各種バイオリソース整備の紹介と成果（動物、植物、微生物、細胞、藻類）、バイオリソースのデータベース整備、ABSの課題およびNBRPの紹介について発表が行われた。NBRPに参画していない省庁のバイオバンク機関および大学からの発表も行われた。

今回の5th ANRRC会議を通して、韓国、タイ、フィリッピン、中国、インドネシア等のアジア近隣諸国におけるバイオリソースの整備状況を理解することができ、また海外研究者との交流を深めることができた。来年度の6th ANRRC会議は、中国で開催される予定である。



【会場風景】



## NBRP関係の発表者

氏名	所属	課題	発表
小幡裕一	理化学研究所筑波研究所BRC	Opening	oral
小原雄治	国立遺伝学研究所	Report from Each Institute	oral
鈴木睦昭	国立遺伝学研究所	Biodiversity	oral
小林正智	理化学研究所筑波研究所BRC	Plant	chair, poster
那須田周平	京都大学	Plant	oral
仁田坂英二	九州大学	Plant	oral
小林俊弘	理化学研究所筑波研究所BRC	Plant	oral
山崎由紀子	国立遺伝学研究所	Data management	oral
大熊盛也	理化学研究所筑波研究所BRC	Microbe	chair, oral
前川秀彰	琉球大学	Animal	chair
吉崎悟朗	東京海洋大学	Animal	oral
瀬筒秀樹	農業生物資源研究所	Animal	oral
藤井告	九州大学	Animal	oral
河地正伸	国立環境研究所	Algae	chair, oral
川井浩史	神戸大学	Algae	oral
中村幸夫	理化学研究所筑波研究所BRC	Biobanking	poster
四方雅仁	筑波大学	Plant	poster
坂本光央	理化学研究所筑波研究所BRC	Microbe	poster
岡田元	理化学研究所筑波研究所BRC	Microbe	poster
高島昌子	理化学研究所筑波研究所BRC	Microbe	poster
北原真樹	理化学研究所筑波研究所BRC	Microbe	poster
工藤卓二	理化学研究所筑波研究所BRC	Microbe	poster
村田武英	理化学研究所筑波研究所BRC	Microbe	poster
柏木昭彦	広島大学	Animal	poster
藤島政博	山口大学	Animal	poster
笹倉靖徳	筑波大学	Animal	poster
目加田和之	理化学研究所筑波研究所BRC	Animal	poster
志村遥平	国立環境研究所	Algae	poster
佐藤清	国立遺伝学研究所	Important Resources	poster

## 来賓ご挨拶

古田裕志	文部科学省研究振興局ライサイエンス課		
大江田憲治	理化学研究所 理事		

# 6 第36回日本分子生物学会年会 特別企画ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP) 実物つきパネル展示 「バイオリソース勢ぞろい」

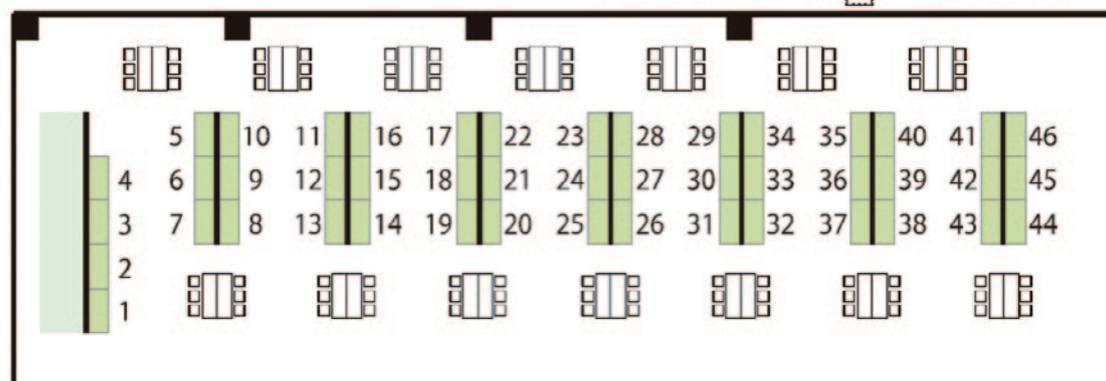
【開催記録】 日時：2013年12月3日(火)～12月5日(木) 9：30～17：00  
 会場：第36回日本分子生物学会年会ポスター・展示会場 NBRP展示コーナー  
 (神戸国際展示場3号館、神戸市)  
 主催：NBRP広報企画ワーキンググループ  
 共催：第36回日本分子生物学会年会  
 (年会長 近藤 滋 (大阪大学大学院生命機能研究科))

第36回日本分子生物学会年会在2013年12月3日(火)～5日(木)の3日間、神戸国際展示場にて開催された。今年の日本分子生物学会年会は、年会長より「未来の生命科学を取りまく状況、ニーズを見通し、それに合った学会に変えて行く。できる限り有意義で且つ楽しめる年会にしたい。」との企画の方針に基づき、サイエンスとアートを融合した工夫が会場内とところどころにみられた。大会側発表による参加者は、約7,500名であった。特別企画NBRP実物つきパネル展示「バイオリソース勢ぞろい」においては、リソースの利用促進ならびに研究者間の交流を図るため、展示会場にてリソースの実物つきパネル展示を行った。この一年を通して、NBRPが学会で展示会を行った中で、本日本分子生物学会での展示会が最大規模のものとなった。NBRP各リソースの代表機関等 (38ブース) に加え、他省庁のバイオリソース研究機関 (3ブース)、文部科学省ライフサイエンス関連のプロジェクト (5ブース) の共同出展を含め、ブース数は合計46件に達した。各ブースにおいては、ポスター発表のほか顕微鏡での実物観察やモニター映写、写真、配布資料による紹介等、リソースごとに工夫を凝らした展示がみられた。展示担当者による説明を熱心に聞いている来場者も見られ展示コーナーは盛況となった。

【展示会場・NBRP展示コーナー】

## ナショナルバイオリソース プロジェクト(NBRP)コーナー

### 神戸国際展示場 3号館



【会場風景】



第36回 日本分子生物学会年会 ● 特別企画 「ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP)」

## 実物つきパネル展示 「バイオリソース勢ぞろい」

日時 2013年12月3日(火)~5日(木) 9:30~17:00  
会場 神戸国際展示場 3号館 NBRPコーナー

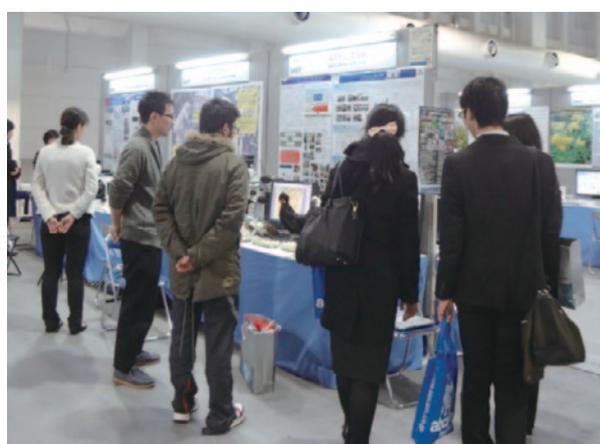
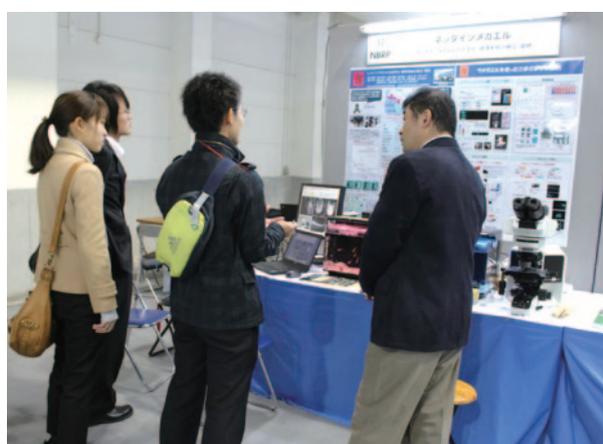
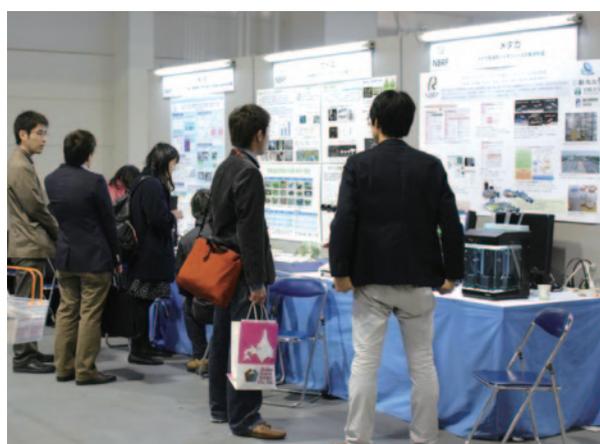
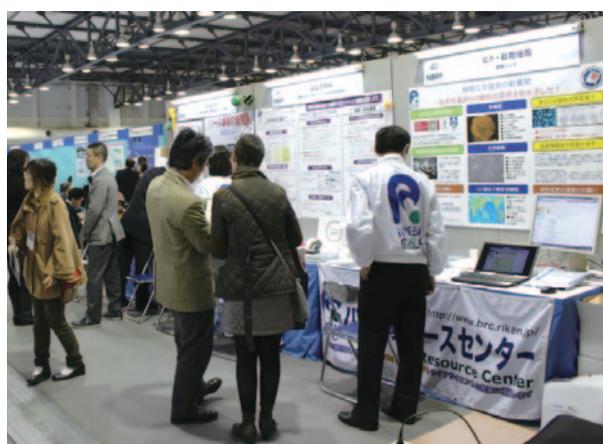
1 ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP) 展示会案内	21 NBRP「広義キク属」: キク属の近縁多様性の理解と利用
2 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良	22 NBRP「アザミ」: アザミ属の多様な形態と利用
3 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良	23 NBRP「ミコトウシ」: ミコトウシの多様な形態と利用
4 商業生物資源活用(バイオ)による新たな産業創出と持続可能な社会の実現	24 NBRP「アザミ」: アザミ属の多様な形態と利用
5 NBRP「大規模人間遺伝情報ネットワーク (GAIN)」: 大規模人間遺伝情報ネットワーク (GAIN) の活用	25 NBRP「ミコトウシ」: ミコトウシの多様な形態と利用
6 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良	26 NBRP「トナリ」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良
7 NBRP「ABS」: ABS (Accession Benefit Sharing) の活用	27 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良
8 大学連携バイオバンクプロジェクト (U-BANK) の活用	28 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良
9 国際生物資源活用プラットフォームの活用	29 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良
10 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良	30 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良
11 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良	31 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良
12 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良	32 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良
13 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良	33 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良
14 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良	34 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良
15 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良	35 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良
16 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良	36 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良
17 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良	37 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良
18 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良	38 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良
19 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良	39 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良
20 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良	40 NBRP「植物」: 実用植物の遺伝資源の活用と育種改良

主催: 文部科学省 NBRP広報高ワーキンググループ  
共催: 第36回日本分子生物学会

お問い合わせ: 国立遺伝学研究所 ナショナルバイオリソースプロジェクト事務局  
〒411-8540 静岡県三島市谷田1111 TEL 055-981-6785 (内線) FAX 055-981-6738

ナショナルバイオリソースプロジェクト  
National BioResource Project (NBRP)  
<http://www.nbrp.jp/>

【会場風景】



## NBRP 展示プログラム

1

ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）の展示会案内：  
NBRP事務局



2

**NBRP事務局：**  
文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）の概要紹介

佐藤 清，小島 美智代，高津 知江，平田 裕美  
(国立遺伝学研究所 NBRP事務局)



3

**NBRP「情報センター」：**  
PubMedからNBRPリソースへの直行便開通！

山崎 由紀子，土屋 里枝，矢野 澄子，松田 睦美，渡邊 融，木村 学，佐賀 正和  
服部 学，渡辺 拓貴，相場 厚輝，松野 恭兵  
(国立遺伝学研究所 生物遺伝資源センター データベース事業部)



4

**農業生物遺伝資源リソース：**  
将来の農業を支える生物遺伝資源とゲノムリソース

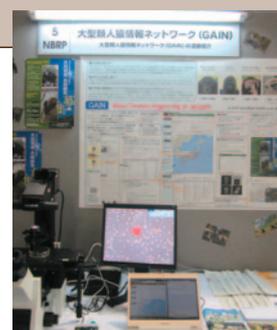
長村 吉晃，B. A.アントニオ，佐藤 豊  
(農業生物資源研究所)



5

**NBRP「大型類人猿情報ネットワーク（GAIN）」：**  
大型類人猿情報ネットワーク（GAIN）の活動紹介

綿貫 宏史朗<sup>1</sup>，落合 知美<sup>1</sup>，西村 剛<sup>1</sup>，今井 啓雄<sup>1</sup>，伊谷 原一<sup>2</sup>，  
友永 雅己<sup>1</sup>，松沢 哲郎<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>京大・霊長研，<sup>2</sup>京大・野生動物)



## NBRP 展示プログラム

6

**NBRP「地球規模生物多様性情報機構日本ノード (GBIF)」:**  
日本及びアジア地域における GBIF の現状と展望

細矢 剛<sup>1</sup>, 海老原 淳<sup>1</sup>, 神保 宇嗣<sup>1</sup>, 松浦 啓一<sup>1</sup>, 菅原 秀明<sup>2</sup>  
山崎 由紀子<sup>2</sup>, 伊藤 元己<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>国立科学博物館, <sup>2</sup>国立遺伝学研究所, <sup>3</sup>東京大学大学院総合文化研究所)



7

**NBRP「ABS 学術対策」:**  
ABS 学術対策チームの概要紹介～生物多様性条約 (CBD) における  
遺伝資源へのアクセスと利益配分 (ABS) について～

鈴木 睦昭, 森岡 一  
(国立遺伝学研究所知的財産室)



8 <文部科学省ライフサイエンス関連のプロジェクト>

**大学連携バイオバックアッププロジェクト:**  
大学連携バイオバックアッププロジェクト (IBBP)  
— 誰もが利用できる生物遺伝資源のバックアップ拠点形成 —

田中 大介, 木村 哲晃, 加藤 愛, 松林 尚美, 浜谷 綾子, 成瀬 清, 小林 悟  
(基礎生物学研究所 IBBPセンター)



9 <文部科学省ライフサイエンス関連のプロジェクト>

**生物遺伝資源教育プログラムの国際的展開:**  
— 文部科学省特別経費・高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実 —  
生物遺伝資源教育プログラムの国際的展開  
(宮崎大学大学院農学研究科)

**遺伝資源キュレーターの育成を目指した国際教育プログラムの推進**  
(京都工芸繊維大・遺伝資源キュレーター教育研究センター)



10

**NBRP「ショウジョウバエ」:**  
ショウジョウバエ・リソース — たゆまざる進化

上田 龍<sup>1</sup>, 近藤 周<sup>1</sup>, 矢野 弘之<sup>1</sup>, 高野 敏行<sup>2</sup>, 都丸 雅敏<sup>2</sup>, 和多田 正義<sup>3</sup>,  
松田 宗男<sup>4</sup>, 栗崎 健<sup>4</sup>, 佐藤 玄<sup>4</sup>, 平井 和之<sup>4</sup>, 明石 良<sup>5</sup>  
(<sup>1</sup>国立遺伝学研究所, <sup>2</sup>京都工芸繊維大学, <sup>3</sup>愛媛大, <sup>4</sup>杏林大, <sup>5</sup>宮崎大)



## NBRP 展示プログラム

### 11

#### NBRP 「線虫」:

システムティックな遺伝子機能解析に有用な線虫欠失変異体の収集・保存・提供

本橋 智子, 中台 枝里子, 吉名 佐和子, 堀 沙耶香, 今江 理恵子, 末廣 勇司,  
三谷 昌平  
(東京女子医科大・医・第二生理学教室)

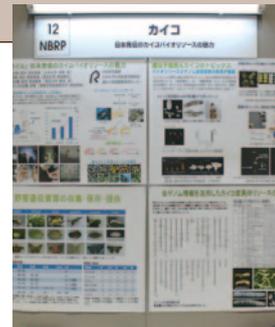


### 12

#### NBRP 「カイコ」:

日本発信のカイコバイオリソースの魅力

伴野 豊<sup>1</sup>, 藤井 告<sup>1</sup>, 嶋田 透<sup>2</sup>, 瀬筒 秀樹<sup>3</sup>, 梶浦 善太<sup>4</sup>  
(<sup>1</sup>九州大学, <sup>2</sup>東京大学, <sup>3</sup>農業生物資源研究所, <sup>4</sup>信州大学)



### 13

#### NBRP 「メダカ」:

メダカ先導的バイオリソースの拠点形成

笹土 隆雄<sup>1</sup>, 竹花 佑介<sup>1</sup>, 佐藤 忠<sup>2</sup>, 明正 大純<sup>2</sup>, 酒泉 満<sup>2</sup>, 成瀬 清<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>基礎生物学研究所 バイオリソース研究室, <sup>2</sup>新潟大学)



### 14

#### NBRP 「【基盤技術】メダカ」:

生殖細胞のガラス化保存と代理親魚技法による凍結細胞由来の  
個体作出に関する技術開発

吉崎 悟朗<sup>1</sup>, 関 信輔<sup>1</sup>, 成瀬 清<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>東京海洋大学 海洋科学技術研究科, <sup>2</sup>基礎生物学研究所 バイオリソース研究室)



### 15

#### NBRP 「ゼブラフィッシュ」:

ナショナルバイオリソースプロジェクト・ゼブラフィッシュ

岡本 仁<sup>1</sup>, 川上 浩一<sup>2</sup>, 東島 眞一<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>理化学研究所, <sup>2</sup>国立遺伝学研究所, <sup>3</sup>自然科学研究機構)



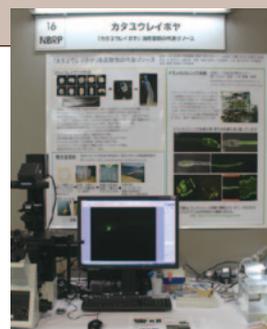
## NBRP 展示プログラム

16

### NBRP 「カタユレイボヤ」:

カタユレイボヤ海産動物の代表リソース

稲葉 一男<sup>1</sup>, 赤坂 甲治<sup>3</sup>, 佐藤 ゆたか<sup>2</sup>, 吉田 学<sup>3</sup>, 笹倉 靖徳<sup>1</sup>,  
三田 薫<sup>1</sup>, 吉田 慶太<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>筑波大学・下田臨海実験センター, <sup>2</sup>京都大学・大学院理学研究科, <sup>3</sup>東京大学・三崎臨海実験所)



17

### NBRP 「ネットイツメガエル」:

ネットイツメガエルの近交化・標準系統の樹立・提供

柏木 昭彦, 柏木 啓子, 花田 秀樹, 鈴木 厚, 竹林 公子, 古野 伸明, 田澤 一郎,  
倉林 敦, 中島 圭介, 小林 里美, 竹中 純子, 玉城 ゆうな, 住田 正幸  
(広島大学大学院理学研究科附属両生類研究施設)



18

### NBRP 「ニホンザル」:

ニホンザルバイオリソースの現状と将来展望

伊佐 正<sup>1</sup>, 中村 克樹<sup>2</sup>, 山根 到<sup>1</sup>, 宮本 陽子<sup>2</sup>, 浜井 美弥<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>自然科学研究機構生理学研究所, <sup>2</sup>京都大学霊長類研究所)



19

### NBRP 「ニワトリ・ウズラ」:

鳥類を代表するバイオリソース

松田 洋一<sup>1</sup>, 吉村 崇<sup>1</sup>, 村井 篤嗣<sup>1</sup>, 山縣 高宏<sup>1</sup>, 鈴木 孝幸<sup>2</sup>,  
飯島 信司<sup>3</sup>, 大森 保成<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>名古屋大・院生命農学・鳥類バイオサイエンス研究センター,  
<sup>2</sup>名古屋大・院理, <sup>3</sup>名古屋大・院工)



20

### NBRP 「イネ」:

イネ属の多様性を生かすリソース基盤の構築

倉田のり<sup>1</sup>, 野々村 賢一<sup>1</sup>, 久保 貴彦<sup>1</sup>, 新濱 充<sup>1</sup>, 土井 一行<sup>2</sup>,  
熊丸 敏博<sup>3</sup>, 安井 秀<sup>3</sup>, 吉村 淳<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>国立遺伝学研究所, <sup>2</sup>名古屋大学, <sup>3</sup>九州大学)



## NBRP 展示プログラム

21

## NBRP「コムギ」:

高度の情報と信頼性を具備した倍数性のモデル植物—コムギの遺伝資源

川浦 香奈子<sup>1</sup>, 一色 正之<sup>1</sup>, 新田 みゆき<sup>2</sup>, 河原 太八<sup>2</sup>, 坂 智広<sup>1</sup>,  
荻原 保成<sup>1</sup>, 遠藤 隆<sup>2</sup>, 那須田 周平<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>横浜市立大学木原生物学研究所, <sup>2</sup>京都大学大学院農学研究科)



22

## NBRP「オオムギ」:

オオムギ—環境ストレス応答研究の基盤植物—

佐藤 和広, 久野 裕, 元井 由加  
(岡山大学資源植物科学研究所)



23

## NBRP「広義キク属」:

キク属の遺伝的多様性の理解を目指して

草場 信, 谷口 研至, 中野 道治  
(広島大・院理・植物遺伝子保管実験施設)



24

## NBRP「アサガオ」:

つる性・短日性双子葉植物のモデル

仁田坂 英二<sup>1</sup>, 星野 敦<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>九州大・院理、<sup>2</sup>基礎生物学研究所)



25

## NBRP「ミヤコグサ・ダイズ」:

ミヤコグサ・ダイズリソースの国際的拠点整備 —収集・保存・提供—

橋口 正嗣<sup>1</sup>, 阿部 純<sup>2</sup>, 青木 俊夫<sup>3</sup>, 穴井 豊昭<sup>4</sup>, 鈴木 章弘<sup>4</sup>, 明石 良<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>宮崎大学農学部, <sup>2</sup>北海道大学大学院農学研究院, <sup>3</sup>日本大学生物資源科学部, <sup>4</sup>佐賀大学農学部)



## NBRP 展示プログラム

26

### NBRP「トマト」:

果実発達研究のモデル植物「トマト」: 'Micro-Tom' 変異集団の基盤整備

四方 雅仁<sup>1</sup>, 星川 健<sup>1</sup>, 有泉 亨<sup>1</sup>, 青木 考<sup>2</sup>, 江面 浩<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>筑波大・生命環境系, <sup>2</sup>大阪府立大・生命環境科学)

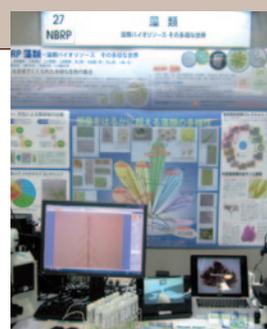


27

### NBRP「藻類」:

藻類バイオリソース その多様な世界

河地 正伸<sup>1</sup>, 志村 遥平<sup>1</sup>, 川井 浩史<sup>2</sup>, 山口愛果<sup>2</sup>, 山岸 隆博<sup>2</sup>, 井上 勲<sup>3</sup>,  
石田 健一郎<sup>3</sup>, 中山 剛<sup>3</sup>, 小亀 一弘<sup>4</sup>  
(<sup>1</sup>国立環境研究所, <sup>2</sup>神戸大学, <sup>3</sup>筑波大学, <sup>4</sup>北海道大学)

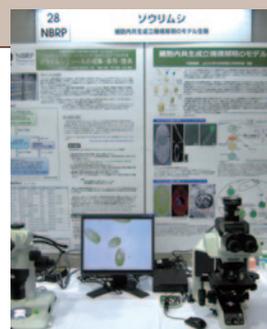


28

### NBRP「ゾウリムシ」:

細胞内共成立機構解明のモデル生物

藤島政博<sup>1</sup>, 田中健也<sup>1</sup>, 児玉有紀<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>山口大学大学院理工学研究科, <sup>2</sup>鳥根大学生物資源科学部)



29

### NBRP「細胞性粘菌」:

多様な研究分野で活躍するユニバーサルモデル生物・細胞性粘菌  
— その株と遺伝子、発現ベクターの提供 —

漆原 秀子<sup>1</sup>, 上田 太郎<sup>2</sup>, 上田 昌宏<sup>3</sup>, 桑山 秀一<sup>1</sup>, 長崎 晃<sup>2</sup>, 上村 陽一郎<sup>3</sup>,  
毛利 蔵人<sup>1</sup>, 大塚 亜希子<sup>1</sup>, 織田 博美<sup>1</sup>, 範 翠晶<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>筑波大生命環境系, <sup>2</sup>産総研・バイオメディカル研究部門, <sup>3</sup>理化学研究所・生命システム研究センター)



30

### NBRP「病原微生物」:

病原微生物—新たな感染症の発生に備えて

矢口 貴志<sup>1</sup>, 田中 玲子<sup>1</sup>, 飯田 哲也<sup>2</sup>, 江崎 孝行<sup>3</sup>, 平山 謙二<sup>4</sup>  
(<sup>1</sup>千葉大学, <sup>2</sup>大阪大学, <sup>3</sup>岐阜大学, <sup>4</sup>長崎大学)



## NBRP 展示プログラム

### 31

**NBRP「原核生物（大腸菌・枯草菌）」：**  
原核生物（大腸菌・枯草菌）のバイオリソース

仁木 宏典, 青木 敬太, 野崎 晋五, 岡本 尚, 矢野 晃一  
(国立遺伝学研究所)



### 32

**NBRP「酵母」：**  
酵母遺伝資源の戦略的収集、保存および提供

中村 太郎<sup>1</sup>, 中原 富美子<sup>1</sup>, 周 瑩<sup>2</sup>, 前川 裕美<sup>3</sup>, 原島 俊<sup>2</sup>, 北村 憲司<sup>4</sup>,  
下田 親<sup>1</sup>, 金子 嘉信<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>大阪市立大・院理・生物地球, <sup>2</sup>大阪大・院工・生命先端, <sup>3</sup>大阪大・院工・酵母リソース,  
<sup>4</sup>広大・自然科学研センター)



### 33

**NBRP「ラット」：**  
世界最高水準のラットリソース拠点

真下 知士, 金子 武人, 竹鶴 裕亮, Birger Voigt, 吉見 一人, 根小田 祐基, 崔 宗虎,  
国広 弥生, 林 真智子, 服部 晃佑, 古迫 久実, 中西 聡, 山崎 賢一, 庫本 高志  
(京都・院医・動物実験施設)



### 34

**NBRP「実験動物マウス」：**  
研究者の、研究者による、研究者のための高品質のマウスリソース

吉木 淳, 橋本 知美, 中田 初美, 目加田 和之, 池 郁生, 平岩 典子, 綾部 信哉,  
持田 慶司, 小倉 淳郎, 森脇 和郎, 小幡 裕一  
(理研BRC)



### 35

**理研BRC「日本マウスクリニク」：**  
理研BRC 日本マウスクリニク  
— 国際標準化SOPにもとづく網羅的表現型解析・IMPC —

若菜 茂晴, 鈴木 智広, 田村 勝, 小林 喜美男, 金田 秀貴, 古瀬 民生, 三浦 郁,  
山田 郁子, 土岐 秀明, 美野輪 治, 脇 和規, 田中 信彦, 榎屋 啓志  
(理研BRC)

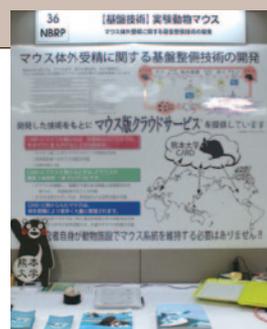


## NBRP 展示プログラム

36

**NBRP【基盤技術】「実験動物マウス」:**  
マウス体外受精に関する基盤整備技術の開発

竹尾 透, 土山 修治, 中潟 直己  
(熊本大学 生命資源研究・支援センター)



37

**NBRP「シロイヌナズナ/植物培養細胞・遺伝子」:**  
実験台から農場へ 理研BRCが提案するリソース活用戦略

小林 正智, 安部 洋, 井内 聖, 小林 俊弘, 氷室 泰代  
(理研BRC)



38

**NBRP「一般微生物」:**  
リソース事業の新展開—健康、環境、ゲノム、情報

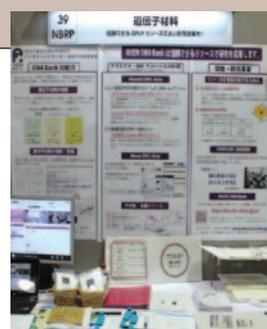
大熊 盛也, 岡田 元, 高島 昌子, 工藤 卓二, 伊藤 隆, 飯田 敏也, 大和田 勉, 坂本 光央, 飯野 隆夫, 北原 真樹, 遠藤 力也, 押田 祐美, 草桶 佳代, 鈴 幸二  
(理研BRC-JCM)



39

**NBRP「遺伝子材料」**  
信頼できるDNAリソースでよい研究結果を！

村田 武英, 岸川 昭太郎, 中出 浩司, 小幡 裕一  
(理研BRC)



40

**NBRP「ヒト・動物細胞」:**  
細胞バンク

中村 幸夫, 他 室員一同  
(理研BRC)



## NBRP 展示プログラム

41

**NBRP「研究用ヒト臍帯血幹細胞」:**  
ヒト由来臍帯血幹細胞

安藤 潔<sup>1</sup>, 川真田 伸<sup>2</sup>, 長村 登紀子<sup>3</sup>, 中村 幸夫<sup>4</sup>  
(<sup>1</sup>東海大学医学部, <sup>2</sup>先端医療振興財団, <sup>3</sup>東大医科研, <sup>4</sup>理研BRC)



42, 43

**創薬・疾患研究用生物資源:**  
厚生労働省: 創薬・疾患研究用生物資源—薬用植物、医学実験用霊長類、ヒト組織、培養細胞、実験動物、幹細胞、難病資源—

坂手 龍一, 高橋 一朗, 古江-楠田 美保, 松田 潤一郎, 小原 有弘,  
川原 信夫, 保富 康弘, 吉田 東歩, 増井 徹  
(医薬基盤研究所)



44 〈文部科学省ライフサイエンス関連のプロジェクト〉

**創薬等支援技術基盤プラットフォーム:**  
「創薬等支援技術基盤プラットフォーム」—知って、使って、進む あなたの研究—  
最先端の力でライフサイエンス研究全分野を支援しています

文部科学省創薬等支援技術基盤プラットフォーム事務局  
(東京大学大学院農学生命科学研究科)



45 〈文部科学省ライフサイエンス関連のプロジェクト〉

**革新的細胞解析研究プログラム (セルイノベーション):**  
革新的細胞解析研究プログラム (セルイノベーション)

セルイノベーション事務局  
(東京大学医科学研究所)



46 〈文部科学省ライフサイエンス関連のプロジェクト〉

**脳科学研究戦略推進プログラム:**  
脳科学研究戦略推進プログラム事務局

自然科学研究機構生理学研究所



## 第36回日本分子生物学会年会 2013年特別企画 NBRP 展示

## 来場者アンケート集計結果

- 実施日：2013年12月3日(火)～12月5日(木)
- 実施場所：神戸国際展示場 3号館
- 回答数：

回収日	回収数	来場者数
12月3日	73	
12月4日	71	
12月5日	51	
合計	195	約500名以上

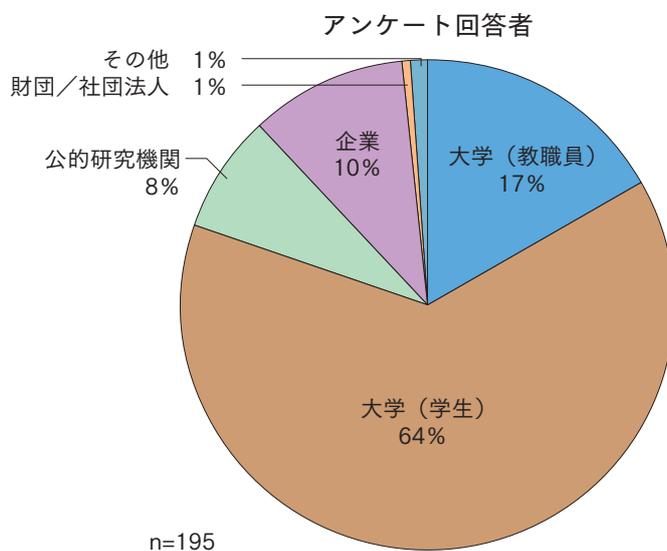
\*来場者数は展示プログラムを受け取った人でカウント。受け取らなかった人もいるので、実際はもっと多い。

### Q1 あなたのご所属についてお聞かせ下さい。

- 大学 (  教職員  学生 )
- 公的研究機関
- 企業
- 官公庁
- 財団/社団法人
- その他

#### 回答

	3日	4日	5日	合計
大学 (教職員)	9	12	12	33
大学 (学生)	44	50	30	124
公的研究機関	9	4	2	15
企業	10	4	6	20
官公庁	0	0	0	0
財団/社団法人	0	1	0	1
その他	1	0	1	2



Q2

あなたの研究で主としてどのような生物材料を使用していますか、あるいは使用したことがありますか？（複数回答可）

- |                                     |                                   |                                |                                      |
|-------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> マウス        | <input type="checkbox"/> ニホンザル    | <input type="checkbox"/> 藻類    | <input type="checkbox"/> 一般微生物       |
| <input type="checkbox"/> ラット        | <input type="checkbox"/> カタユウレイボヤ | <input type="checkbox"/> 広義キク属 | <input type="checkbox"/> 大腸菌         |
| <input type="checkbox"/> ショウジョウバエ   | <input type="checkbox"/> ニワトリ・ウズラ | <input type="checkbox"/> アサガオ  | <input type="checkbox"/> 枯草菌         |
| <input type="checkbox"/> 線虫         | <input type="checkbox"/> ゾウリムシ    | <input type="checkbox"/> ミヤコグサ | <input type="checkbox"/> 酵母          |
| <input type="checkbox"/> ネットアイツメガエル | <input type="checkbox"/> シロイヌナズナ  | <input type="checkbox"/> ダイズ   | <input type="checkbox"/> 培養細胞（ヒト）    |
| <input type="checkbox"/> カイコ        | <input type="checkbox"/> イネ       | <input type="checkbox"/> トマト   | <input type="checkbox"/> 培養細胞（動物）    |
| <input type="checkbox"/> メダカ        | <input type="checkbox"/> コムギ      | <input type="checkbox"/> 細胞性粘菌 | <input type="checkbox"/> 培養細胞（植物）    |
| <input type="checkbox"/> ゼブラフィッシュ   | <input type="checkbox"/> オオムギ     | <input type="checkbox"/> 病原微生物 | <input type="checkbox"/> 研究用ヒト臍帯血幹細胞 |
| <input type="checkbox"/> その他（       |                                   |                                | <input type="checkbox"/> DNA         |

回 答 (複数回答あり)

	3日	4日	5日	合計
マウス	25	26	18	69
ラット	7	9	8	24
ショウジョウバエ	0	0	3	3
線虫	5	1	2	8
ネットアイツメガエル	0	1	1	2
カイコ	1	1	2	4
メダカ	6	0	2	8
ゼブラフィッシュ	6	5	3	14
ニホンザル	1	0	2	3
カタユウレイボヤ	2	0	1	3
ニワトリ・ウズラ	0	1	2	3
ゾウリムシ	1	0	0	1
シロイヌナズナ	4	8	0	12
イネ	3	0	5	8
コムギ	0	0	0	0
オオムギ	0	0	0	0
藻類	1	2	1	4
広義キク属	1	0	0	1
アサガオ	0	0	0	0
ミヤコグサ	0	0	0	0
ダイズ	0	0	0	0
トマト	1	0	0	1
細胞性粘菌	0	1	0	1
病原微生物	4	1	3	8
一般微生物	13	4	4	21
大腸菌	19	17	15	51
枯草菌	2	0	1	3
酵母	8	11	6	25
培養細胞（ヒト）	13	24	15	52
培養細胞（動物）	15	19	11	45
培養細胞（植物）	1	2	0	3
研究用ヒト臍帯血幹細胞	0	0	1	1
DNA	11	1	14	26

その他

	3日	4日	5日
ヒトの腸内細胞		アコヤガイ	ウサギ
昆虫等		ハウレンソウ	繊毛虫
ブタ・ウサギ		アカパンカビ	イモリ
バクテリア		ヒトの組織	養殖魚種等
ヒト検体から検出した核酸		コケ	バナナ
		アブラナ科・植物全般	トゲネズミ・アズマモグラ
			タバコ
			イネイモチ病原菌

**Q3** その生物材料の入手先を教えてください。

- 保有している研究者から入手       自分で作製       企業から購入  
 国内のリソースセンター ( \_\_\_\_\_ )  
 海外のリソースセンター ( \_\_\_\_\_ )

**回 答** (複数回答あり)

	3日	4日	5日	合計
保有している研究者から入手	37	31	23	91
自分で作製	18	13	12	43
企業から購入	5	16	11	32
国内のリソースセンター	23	25	20	68
海外のリソースセンター	11	5	6	22

国内のリソースセンターの内訳

	3日	4日	5日	合計
理研	4	7	1	12
NBRP	3	1	1	5
東北大学	1			1
京都工業繊維大学			1	1
九州大学			1	1
農業生物資源研究所	1			1
JCRB			1	1
NBRC	2			2
日本クレア(株)	1		1	2
清水実験材料(株)			1	1

事業別まとめ



海外のリソースセンターの内訳

	3日	4日	5日	合計
ATCC (アメリカ)	1	1	1	3
ABRC (アメリカ)		2		2
Jackson (アメリカ)	1			1
Bloomington Drosophila stock center (アメリカ)			2	2
ソーク研究所 (アメリカ)	1			1
NIH (アメリカ)	1			1
Euroscarf (ドイツ)		1		1
NCTC (イギリス)	1			1
IRRI (フィリピン)	1			1
RCB (インド)			1	1

#### Q4 その生物材料は有償ですか、無償ですか？

有償

無償

**回答** (複数回答あり)

	3日	4日	5日	合計
有償	25	37	31	93
無償	34	25	20	79

#### Q5 文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP) のことを知っていますか？

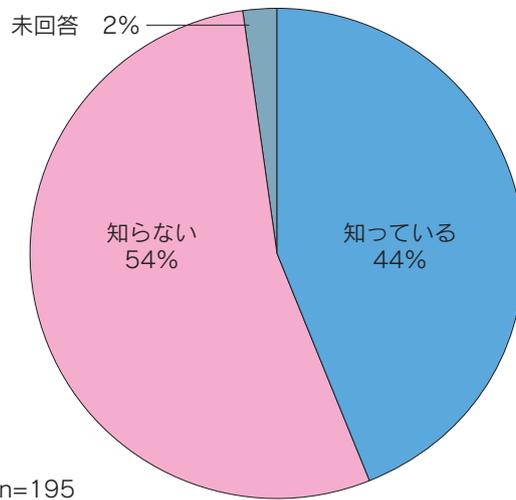
知っている

知らない

**回答** (複数回答あり)

	3日	4日	5日	合計
知っている	33	27	25	85
知らない	39	42	24	105
未回答	1	2	2	5

NBRPのことを知っていますか？



(参考) 過去の知名度の推移

	H 20 (2008)	H 21 (2009)	H 22 (2010)	H 23 (2011)	H 24 (2012)	H 25 (2013)
知っている (%)	53	84	61	55	49	44
n (回答者数)	96	38	117	95	156	195
開催地	神戸	横浜	神戸	横浜	福岡	神戸

Q6

今回の特別企画実物つきパネル展示「バイオリソース勢ぞろい」の展示コーナー全般についてお気づきの点やご意見がありましたらお聞かせ下さい。  
(また、今回ご興味等を持ったバイオリソース等ございましたら、その名前をお書きください。)

回 答

【12月3日】

- 感染症研究のリソース提供について情報が欲しかった。
- 会社の研究所でライフ系の基礎研究に従事している。
- 植物関係（興味あり）
- 種を配っていたので個人的に興味を持った。
- メダカについての質問あり→成瀬先生を紹介
- 金額について（手数料と発送費であるがリソースにより異なる）
- マウスデータツールがあることがわかってよかった。
- リソースは重要なので、会場のもう少し人通りのあるところにブースがある方がいい。

【12月4日】

- NBRPのパンフレットを学内でもらったことがある。
- 説明が詳しくわかりやすかった。(カイコ、トマト)
- 便利であるが、限られた種類のものになってしまう。(以前理研にいた方)
- アサガオは毎年楽しみにしている。
- 実際に生体そのものを観察できたのがよかった。
- ホヤという生物は形から生態までとてもかわっていて全く扱わないであろう生物だったが心がひきつけられた。
- 色々あるが、HPでも見たいと思った。
- 顕微鏡に関心があり、研究室を訪ねた時に研究利用していた。

【12月5日】

- 今度、使用してみたい。
- 臨床なので実際使用することはないが、興味があるので見てみた。

【その他質問事項】

- NBRP事業について  
(どういった事業なのか、いつから行っているプログラムか、国内の大学のみが行っているのか、3期終了後はどうなるのか。)
- iPS細胞は行っているのか。
- デバネズミは展示しないのか。
- cDNAライブラリーからタンパク質を取り出し、研究材料として企業に販売することは可能か。

## 2013年度 NBRP 広報活動について

NBRP事務局

ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）は、動物、植物、微生物、細胞および遺伝子材料等の生物遺伝資源（バイオリソース）のうち、国が戦略的に整備することが重要なものについて、体系的な収集・保存・提供の体制整備を行う国家プロジェクトです。文部科学省のイニシアティブの下に2002年度から開始され、第1期（2002～2006年度）および第2期（2007～2011年度）に引き続き、昨年度より第3期NBRP（2012～2016年度）が開始しています。

2013年度のNBRP事務局の広報活動では、各種の学会の展示会においてポスター発表、リソースの展示、動画および広報資料の配布などを行いました。国内学会としては、第60回日本実験動物学会総会（つくば）、日本遺伝学会第85回大会（慶応大学）、第36回日本分子生物学会年会（神戸）、日本農芸化学会2014年度大会（2014年3月明治大学）、国際学会・会議としては、第12回国際コムギ遺伝学シンポジウム（横浜）、第18回国際窒素固定会議（宮崎）、The 5<sup>th</sup> Asian Network of Research Resource Centers（ANRRC）（葉山）において、NBRP展示コーナーを特設し広報活動を行いました。日本分子生物学会では、恒例になっている実物つきパネル展示の特別企画を主宰しました。出展者はNBRP参画研究機関に加え、厚生労働省、農林水産省のバイオリソース研究機関および文部科学省のライフサイエンス分野の他のプロジェクトからの共同出展もあり、総数46ブースの大規模な展示会になりました。展示ブースの前では、熱心な質問、意見交換が交わされ熱気のある展示会になりました。

2013年度の広報活動では、上記の日本実験動物学会、国際コムギ遺伝学シンポジウムおよび国際窒素固定会議においては初めての展示会開催になりました。NBRP事業を国内外の研究者に理解してもらい、リソースを利用してもらうようにするためには、利用者の潜在力のある学会を選択し広報していくことも大切です。NBRP事業の普及と新しい利用者の拡大を目指して、リソース整備拠点の実施者の皆さんと協力しながら次年度も広報活動に努力して参りたいと考えています。

NBRP広報企画ワーキンググループ委員名簿（五十音順）

- 明石 良 宮崎大学農学部 教授
- 漆原 秀子 筑波大学大学院生命環境系 教授
- 小幡 裕一 理化学研究所バイオリソースセンター  
センター長
- 小林 正智 理化学研究所バイオリソースセンター  
実験植物開発室 室長
- ◎城石 俊彦 情報・システム研究機構国立遺伝学研究所 教授
- 成瀬 清 自然科学研究機構基礎生物学研究所 准教授
- 仁木 宏典 情報・システム研究機構国立遺伝学研究所 教授
- 山崎 由紀子 情報・システム研究機構国立遺伝学研究所 准教授
- ◎主査

企 画

文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト  
企画広報ワーキンググループ

発 行

国立遺伝学研究所NBRP事務局  
〒411-8540 静岡県三島市谷田1111  
TEL: 055-981-6765  
<http://www.nbrp.jp/office/>

